

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 20日

郡山市長 殿

提出者



住 所 福島県郡山市松木町2番25号

氏 名 日本化学工業株式会社福島第一工場

工場長 伸岡 泰裕

電話番号 024-944-1160

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本化学工業株式会社 福島第一工場
事業場の所在地	福島県郡山市松木町2番25号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

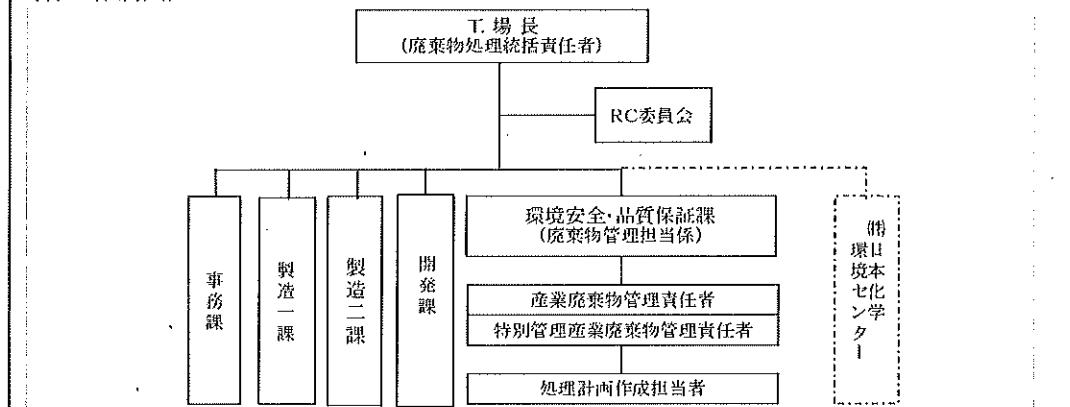
① 事業の種類	1629 化学工業 無機化学工業製品製造業
② 事業の規模	令和5年度 製品出荷額 116億円
③ 従業員数	令和5年度 3月末 163人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類 別紙-2のとおり
	排出量 別紙-2のとおり t
(これまでに実施した取組)	
排出汚泥含水率の低減。	
【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類 別紙-2のとおり
	排出量 別紙-2のとおり t
(今後実施する予定の取組)	
排出量抑制のための処理方法の改善。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各排出汚泥を分別しリサイクル向けと区別している。 中古パレット（木製及び樹脂）の一部をリサイクル（有価物）し排出量を削減する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラについて、綺麗なものを区別し焼却処分を減らしリサイクル率を上げる。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり				
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	t			
(これまでに実施した取組)						
自ら再生利用は行わない。						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり				
②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	t			
	(今後実施する予定の取組)					
実施予定は無い。						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり				
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	t			
②計画	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t			
	(これまでに実施した取組)					
自ら中間処理は行わない。						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり				
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	t			
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t			
(今後実施する予定の取組)						
実施予定は無い。						

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t		t		
	(これまでに実施した取組)					
自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t		t		
(今後実施する予定の取組)						
実施予定は無い。						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり				
	全処理委託量	別紙-2のとおり t		t		
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙-2のとおり t		t		
	再生利用業者への処理委託量	別紙-2のとおり t		t		
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙-2のとおり t		t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙-2のとおり t		t		
(これまでに実施した取組)						
委託基準に従って業者を選定する。廃棄物処理状況を定期的に視察し処理状況の確認を行う。						

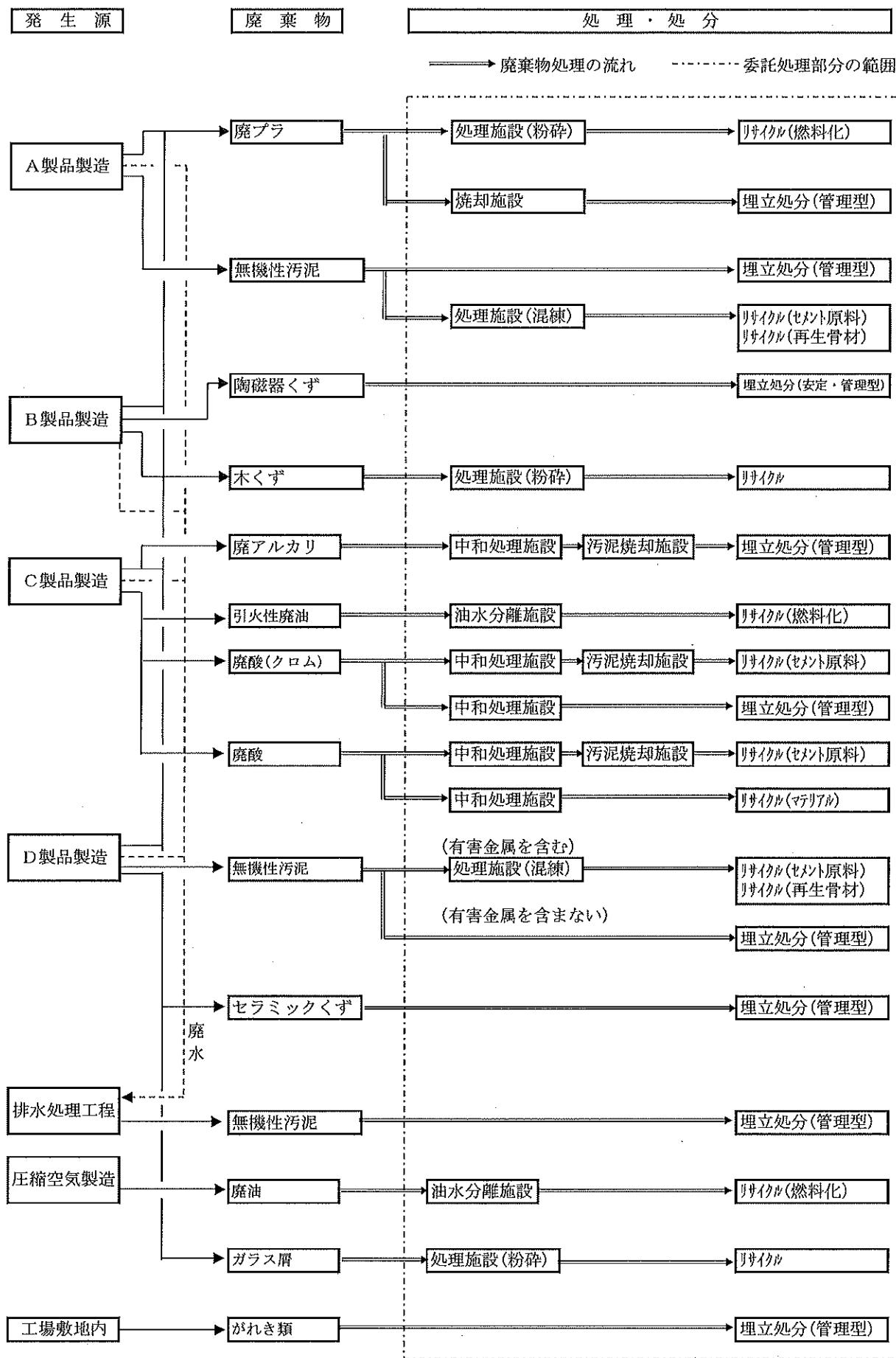
(第5面)

【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり
	全処理委託量	別紙-2のとおり t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙-2のとおり t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙-2のとおり t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙-2のとおり t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙-2のとおり t
②計画	(今後実施する予定の取組)	<p>排出量抑制のための処理方法の改善。 また、これまで行ってきた汚泥の含水率の向上を継続し、設備の維持に努める。</p>
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙-1)



④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

(第2面) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック	木くず
	排出量	1,702.92 t	0.65 t	79.79 t	55.86 t	53.86 t
②計画	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック	木くず
	排出量	1,754.01 t	0.67 t	82.18 t	57.54 t	55.48 t

(第4面) 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック	木くず
	全處理委託量	1,702.92 t	0.65 t	79.79 t	55.86 t	53.86 t
②計画	優良認定処理業者への処理委託量	31.66 t	0 t	79.79 t	9.90 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1,541.87 t	0.50 t	79.79 t	0 t	53.86 t
【目標】						
②計画	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	45.77 t	0 t	0 t

(第5面)